

stu × CRESCENT



(写真左から)今村氏、渡辺氏、石川氏

株式会社stuは2017年3月に設立された世界的なコンテンツを生み出すクリエイティブカンパニーだ。これまでAR/VRを実装する放送基幹システムに携わり、W杯、紅白歌合戦、NHKスペシャルをはじめとしたNHKの挑戦的なプロジェクトへ参画している。同社が制作プロデュースを担当した2映像(NHKスペシャル：東京リボン(タイトルシーケンス)/NHKスペシャル：AIでよみがえる美空ひばり)がVFX-JAPANアワード2020の優秀作にも選出されている。映像分野だけでなく、空間のデザインにおいてもBIMと位置情報を結びつけるサービス開発をスタートさせ、設計・施工各社とタッグを組んで国内外の様々なプロジェクトに参画している。同社が目指す事業テーマとして、世界に通用する複合クリエイティブカンパニー「CREATIVE COMPLEX」を掲げている。

今村 理人氏 (VICE PRESIDENT / 3DCG PRODUCE)、渡辺 大聖氏 (CREATIVE & TECHNICAL DIRECTOR / SPATIAL PERFORMANCE DIRECTION)、石川 樹氏 (FIRST-CLASS ARCHITECT / SPACE PRODUCE) に取材した。

設立経緯

今村氏「弊社はCEOの黒田が設立して、私と渡辺と杉野の4人がベースとなり事業を開始しました。設立後はNHKの紅白歌合戦やTWICE DOME TOUR 2019「#Dreamday」、幕張で開催された〈物語〉フェス～10th Anniversary Story～などの大きな仕事を経て業界に認知されていったと思います。そういったライブでのテクニカルエンターテインメントを軸として活動しております」

渡辺氏「元々、設立メンバーのそれぞれが会社を運営していてstuにスタッフと共に集い、現在では20人程で運営を行っております」

今村氏「特色といたしましては、それぞれが専門分野が異なっていて、私自身は3DCGを専門としており、渡辺はライブを中心にした演出をメインで行っております」

石川氏「私は建築を専門としております。近年の興行場や商業施設の傾向に合わせて、空間デザインと演出機材やデバイスを全体的に統合をするようなプロジェクトを扱っております」

今村氏「stuのメンバーは映像・建築のプロフェッショナルだけでなく、飲食店や生花店を経営しているメンバーもおります。そういった複合性から「CREATIVE COMPLEX」というテーマを掲げ、新しいエンターテインメントを目指していこうと思っています」



クレセントとの出会い

渡辺氏「きっかけは、前述の物語シリーズアニメ10周年を記念した〈物語〉フェスを演出させて頂いていた時でした。そのライブに都合がつかずどうしても参加できなかった声優さんがいらっしゃり、そのパートだけはモーションキャプチャ技術を用いたCGキャラクターライブ的に出演させよう。その制作過程で収録に立ち会った際、この技術に対して完成されて世に生み出されるCGやゲーム等の領域に限定されない、リアルタイム表現の可能性を感じ、今村の知人を介してクレセントさんをご紹介頂きました」

次世代のエンターテインメント

渡辺氏「昨年の11月に池袋に“harevutai”というライブハウスがオープンしたのですが、stuでは全体の施設監修・システム設計を担当しており、運営をされているポニーキャニオンさんから、“harevutaiで活動するキャラクターIPを作りたい!”というオーダーがありました。時代の流れに乗った形でいわゆるVtuberのCGプロデュースを担当するといった流れの中で、システムとネットワークが整った箱・キャラクターIP・モーションキャプチャ・“The Live System”(※stuで開発している演出プロダクト群の呼称)、これらを集約すれば、次世代型のエンターテインメント体験が作れると直感的に感じました。これまでは限られた場所での体験というものが価値基準としてあったと思うのですが、これからは一箇所から大多数の複数拠点へとリアルタイムに情報を発信し、それぞれの場所に応じたインタラクティブ性を持った体験、というのもエンターテインメントの新しい形だと思っています」

Recruit

stu inc. では一緒にエンターテインメントの未来を作ってくれるチームメイトを探しています。

詳しくはwebで！とか言いたいんですが、カッコつけてるのでwebがありません。スタジオは東京都渋谷区です。もし記事を見て、本当に万が一、ご興味を持っていただけましたら、ぜひ下記メールアドレスまでご連絡ください。宜しくお願いします！

recruit@stu.inc



CRESCENT CASE STUDY



stuの技術力、空間デザインまで担当

石川氏「stuの建築部門では、イルミネーションや企業PRの展示空間、常設の興行場などアウトプット先は様々ですが、社内で開発した基幹技術を空間のコンセプトに沿う形に派生させて、新しい空間体験の在り方を生み出すような提案を心がけています。技術開発チームが持っている知見と、そのときどきのトレンドを掛け合わせながら、既存のフレームに留まらない表現ができるように、社内で様々な立場のスタッフを横断的に関わらせながらプロジェクトを進めます」

今後の展開、若い世代に向けて

渡辺氏「理想を考える人、歌やパフォーマンスをする人、舞台を作る人、サポートする人、どんな人に対してもデジタルテクノロジーは常にオープンで理想を形にする手段です。ほんの一例ですが、我々のようにモーションキャプチャに出会ったことで複数の点が繋がって長い線になる事例もあります。もっとオープンで、理想が形になりやすい世界の在り方を、エンターテインメントを通して届けていきたいです」

(取材：立石伸雄 / VIDEO JOURNAL)